

甲南大学

一般選抜入学試験合格対策セミナー

英語対策講座

目次

◇ 出題形式と大問別特徴 ◇

問題形式、時間配分など、甲南大学の英語の特徴を知る。

◇ 大問別解法 ◇

各大問の特徴と問題の攻め方を把握する。

◇ 問題サンプル ◇

各大問の特徴と問題の攻め方を把握する。

◇ 前期入試 出題形式と大問別特徴 ◇

● 試験時間	70 分	● 設定時間	並 ~ やや厳しい
● 配点	100 点	● 合格者平均点	67%
● 英文難易度	並	● 設問難易度	並

問題形式	1 長文読解 (850 words 程) 40 点程
難易度	並
時間配分	30 ~ 35 分

問題形式	2 長文読解 (350words 程) 20 点程
難易度	並
時間配分	20 ~ 25 分

英文の語数は大問 1 で 800words 前後、大問 2 は 400words 前後である。時間配分を考慮すると、文章の大意を把握する力はもちろん、速読する力も問われていると考えた方がよい。本文の難易度はやや高く、単語は少なくとも 1500 ~ 2000words 覚えるべきだが、その一方で、設問のレベルは易しめで、内容がある程度把握しておけば解くことができるので、長文読解を中心に勉強し、長めの文章をざっと理解できる力を身に付けることが重要となる。一部、指示語の把握や下線部言い換え問題といった知識や精読を求める問題はあるが、文章の流れを把握し、解答に必要な箇所を特定することが最も差を分けるだろう。

問題形式	3 会話文 20 点
難易度	並
時間配分	10 分

設問数は 10 問で、問題の大半が文法、語法、イディオム、会話表現を問う問題が多い。

問題形式	4 4 択文法 20 点
難易度	並
時間配分	5 分

設問数が 10 問あり、様々な単元から出題されるため、文法語法イディオムの対策が必要となる。なお、公募推薦の文法難易度は易だが、一般では並と明らかに文法のレベルが上がっていることに注意が必要。

◇ 大問別解法 ◇

1・2 長文読解

全体的傾向

2025 年度の入試では長文の大問は 2 つで、英文の語数は大問 1 で 850words 程、大問 2 が 350words 程と計 1200words 弱の英文を読む力が試された。問題形式は下線部言い換え問題、空所補充問題、指示語把握、内容合致である。本文はやや難しい語彙で書かれた文章の出題が多かったため、英単語帳一冊(2000words 程)を覚えておいた方がよい。長文で全体の 60%の点数を占めるので、英単語、英熟語、英文法、英文解釈など徹底的に基礎を固めた上で、長文を読む力を日頃から高めておこう。

問題を解く方針

① 内容合致は指定された段落を読んですぐ解く！

指定された段落ごとに解く内容合致問題があるが、本文すべて読み通してから解くのではなく、その段落を読み終わってすぐ解答すること。本文の内容が頭の中に残っているうちでないと、根拠となる箇所を特定しにくいからだ。2022 年までは内容合致の選択肢は長めで、本文と選択肢を正確に照らし合わせる作業が難しく、また誤りの選択肢も様々なパターンがあったので正解を選ぶのが難しかったが、近年の問題改訂を経て、選択肢も長すぎることなく、主張を把握し、該当箇所を特定することで解答できる問題が増えた。ただし、本文に書かれていない情報が選択肢にかなりの確率で登場するため、内容合致を含む段落では文章の飛ばし読みは厳禁となる。

② 下線部言い換え問題は語彙力 → 文脈の順で

下線部言い換え問題は、やや難しめの単語や熟語が出題されたり、知っている単語でも文脈によって意味を特定しないと解答できない問題が増えた。語彙力をつけることはもちろん、必ず文脈に合うかどうかを確認することが重要だ。

③ 空所補充問題は文法 → 文脈の順で

空所補充問題はほとんど意味を問う問題で、前後のつながりを問う問題が多い。ただし、中には文法的に誤りの選択肢もあるので、まずは文構造から確認し、次に空所付近の意味を確認すればよい。特に接続副詞(However)などが問われやすいので、使い方が分からない語は単語帳や辞書の例文でよく調べよう。

④ 指示語把握は文脈で

指示語(it / that / this など)はそれぞれ指すものを単数形や複数形といった形だけで決めるのではなく、その指示語を含む一文を正確に訳し、最も意味が通る選択肢を選ぼう。また、普段から長文を読む時、指示語が何を指しているのかを意識的に考えておけばよい練習になるだろう。

★ 参考 マーク形式の試験全般でよく出る内容合致のポイント

① 本文情報の否定

lack 「～がない」 / doubt 「～ないと思う」 / deny 「～を否定する」 / decline 「低下する、断る」 / avoid 「避ける」 ...
fail to do ～ 「～しない」 / refuse to do 「拒否する」 / hesitate to do ～ 「～するのをためらう」 ...
remain to be p.p. 「まだ～されていない」 / have yet to do ～ 「まだ～されていない」 ...
wrong 「間違っている」 / uncommon 「普通ではない」 / unusual 「異常な」 / unaware 「気付いていない」 ...
meaningless 「無意味な」 ...
rather than ～ 「～ではなく」 / instead of ～ 「～の代わりに、～ではなく」 ...

② 準否定表現

little 「ほとんど～ない (不可算名詞につく)」 / few 「ほとんど～ない (可算名詞につく)」 / hardly 「ほとんど～ない」 / scarcely 「ほとんど～ない」 / rarely 「めったに～ない」 / seldom 「めったに～ない」 / almost 「ほぼ～」など

※ almost 「ほぼ～」は厳密には準否定ではないが、「ある基準に達していない」という意味なので否定の一種だと考えよう。

③ 絶対・誇張表現

(1) 限定的な意味

only 「～だけ、ほんの～」 / just 「ちょうど～」 / merely 「単に～」 / purely 「純粹に、単に」 / solely 「～だけ」 / exclusively 「もっぱら～、独占的に」 / alone 「～だけ」 / nothing but 「～に他ならない」 / no more than 「たった～」 / the **最上級** 「最も～」 / more than anything else 「他の何よりも」 / except 「～を除いて」 / be limited to ～ 「～に限られる」 / be restricted to ～ 「～に制限される」

(2) 全体的な意味

all 「すべて」 / both 「両方」 / every 「すべての～」 / always 「いつも」 / all the time 「いつも」 / consistently 「一貫して」 / constantly 「絶えず」 / necessarily 「必ず」 / without fail 「必ず」 / inevitably 「必然的に」 / not ~ without ... 「～すれば必ず…がある」 / completely 「完全に」 / fully 「完全に」 / entirely 「全く」 / even 「～でさえ」 / forever 「永遠に」 / for good 「永遠に」 / no ~ 「全く～ない」 / not any ~ 「全く～ない」 / without any ~ 「全く～なしに」 / regardless of 「～に関係なく」 / neither A nor B 「AもBもない」 など

※ not all, not every など上記の全体表現に not がついた場合は部分否定「～だとは限らない」の意味になるため注意。むしろ正解になる場合の方が多い。

④ 比較表現

(1) 「類似」の意味

as ~ as ... 「…と同じくらい～」 / the same as ~ 「～と同じもの」 / like ~ 「～のような」 / no ~ more (less) than ... 「…と同様～でない (である)」 / not ~ any more than ... 「…と同様～でない」など

(2) 「相違」の意味

more ~ than ... 「…よりも～」 / rather than ~ 「～ではなく」 / be different from ~ 「～とは違って」 / other than ~ 「～以外に」 / unlike ~ 「～とは違って」 / despite ~ 「～にかかわらず」 / in spite of ~ 「～にもかかわらず」 など

⑤ 因果関係・時系列表現

(1) 理由 → 結果 を表す表現

Because SV, SV. 「～なので…」 / Since SV, SV. 「～なので…」 / As SV, SV. 「～なので…」
cause 「引き起こす」 / produce 「生み出す」 / bring 「もたらす」 / trigger 「引き金となる」 / promote 「促進する」 / give 「与える」 / be responsible for ~ 「～に責任がある」 / lead to ~ 「～に至る」 / bring about ~ 「～を引き起こす」 / result in ~ 「～の結果になる」 / contribute to ~ 「～に貢献する」 / give rise to ~ 「～を生じさせる」 など
無生物 SVO 「S によって O が～する、される」

※ SV because SV のように接続詞の場合は前後が逆に置かれることも考慮すること。

(2) 手段 → 目的 となる表現

SV to do ~ 「～するために SV」 / SV in order to do ~ 「するために～」 / SV so that ~ 「～するために」

(3) 結果 → 理由 を表す表現

result from ~ 「～から生じる」/ come from ~ 「～からくる」/ arise from ~ 「～から生じる」/ stem from ~ 「～から生じる」/
be caused by ~ 「～によって引き起こされる」/ be produced by ~ 「～によって生み出される」/ because of ~ 「～ために」/
due to ~ 「～せいで」/ thanks to ~ 「～のおかげで」/ on account of ~ 「～のために」/ など

(4) その他関係・順番を表す表現

have ~ to do with ... 「…と～の関係がある」/ be related to ~ 「～と関係がある」/ be associated with ~ 「～と関係している」/
have ~ connection with [to] ... 「…と～の関係がある」/ have a ~ influence on ... 「…に～の影響をもたらす」/
have a ~ effect on ... 「…に～の影響をもたらす」/ have a ~ impact on ... 「…に～の影響をもたらす」/ (right) after ~
「(ちょうど)～の後」/ (just) before ~ 「(ちょうど)～の前」/ first 「初めに」/ at first 「最初は」/ initially 「最初は」/ originally
「もともとは」 など

3 会話文問題

特徴

会話文問題では、文法、熟語、会話表現が多く問われる。そこで参考書で文法、熟語はもちろん、会話表現も最低限暗記しておくことも大切だ。逆に知識さえつけてしまえば文脈的に解くのに苦勞する問題というのはほとんどないので、会話文に慣れておくことはそこまで必要ではないだろう。ただ会話文は普段読んでいる評論文とは読み方が少し変わるので、以下にある方法を参考にして読んでみよう。

読み方

① 人物関係と会話の場面をイメージして読む！

会話文は評論文とは違い、人物が登場し、場面が設定されている。それゆえ読むときは主張を考えるとよりも、場面をイメージし、展開を把握できるかということが読めるということである。まずは会話文の中心となる人物と場面を中心に具体的にイメージする意識を持って本文を読んでみよう。

② 会話の展開を知る！

普段日本語で何気なく行っている会話も実は決まったパターンで展開している。その特徴を知って、スムーズに展開を把握できるようにしよう。

(1) 疑問 → 応答 の流れ

まず2人の人物が会話をする時、相手に疑問を投げかけて、それに応答するのが一番多い。英語では一般疑問文(Do you ~?など)とWH疑問文(When~?など)が使われるので、どのような疑問にどう答えているかを追いかけると読みやすくなるだろう。

(2) 旧情報 → 新情報 の流れ

会話は同じ話を繰り返すのではなく、新しい話題に発展していく。その時に先ほど話していた話題を代名詞(旧情報)で受けて、新しい話題(新情報)へとしりとりのように展開していく。まず指示語や会話特有の省略が前述の何を表すかを把握し、新しい話題を表す語に注目して展開を追ってみよう。

★ 代表的な会話表現

【挨拶】

How have you been?	元気ですか？	What have you been up to?	最近どうなの？
It's been a while.	久しぶり	Take care of yourself.	気をつけてね。

【質問】

Do you have the time?	何時ですか？
Do you have time?	暇ですか？
How much does it cost ~?	いくらかかるの？
How long does it take ~?	どれくらい時間がかかるの？
What do you do (for a living)?	お仕事は何をしていますか？
What's wrong with it ?	何か問題あるの？
How far is it from here?	ここからどれくらいの距離があるの？
Who will you fly with?	どの航空会社を使うのですか？
What brought you to 場所？	なんで～に行くことになったの？

【提案・依頼】

I was wondering if you could ~	～してくれないかしら
I would appreciate it if ~	～してたらありがたい
I'd love to ~, but...	～したいのですが、でも...
Why don't you ~?	～したらどうですか？
Why don't we ~?	～しませんか？ (= Shall we ~?)
How about ~?	～はどうですか？
Would you mind ~ing?	～してくれませんか？
※ 答え方に注意。mind は「嫌がる」なので、Yes なら「嫌だ」、No なら「いいよ」となる。	
Would you do me a favor?	お願いしてもよろしいですか？
Give my (best) regards to ~	～によろしく伝えてください
Please [take] have a seat.	どうぞ座ってください。

【返答】

Are you kidding me?	冗談でしょう？	Don't mention it.	どういたしまして
Never mind!	気にしないで!	Don't bother.	気にしないで
It can't be helped.	仕方がない	No wonder S V	～なのも不思議ではない
That explains it.	そういうことね。	That [it] (all) depends.	状況次第だ
Me, too.	私もです	so V S	S もまたそうだ

Neither V S	Sもそうではない	You can say that again!	その通り！間違いない！
Not really	そうでもない	Come on!	おいおい！（ツッコミで使う）
No way!	まさか、いやだ	(It) couldn't be better.	最高だ
I'll take care of it.	私がなんとかするわ	Leave it to me.	私に任せて

【その他】

I hope SV	プラス情報の予告	I'm afraid SV	マイナス情報の予告
-----------	----------	---------------	-----------

4 4 択文法問題

特徴

設問は標準レベルだが、出題範囲が広く、主要英文法だけではなく、語法や熟語といった細かい範囲まで学習する必要がある。問題集は基本問題をまずすべての範囲解いておこう。去年の配点で言うと 20 点を占めるというのは、文法も合否に大きく関わると言えるだろう。

問題を解く方針

① 文型を把握し、品詞を特定する！

公募推薦と比べて難易度が高くなっている。まず文構造を把握できるかを問う問題も出題されているため、特に選択肢の品詞が異なる場合には構造把握をすること。

② 選択肢を見て、分野別のポイントに絞る！

品詞を特定した後は、問われている分野の考え方で答えを出そう。例えば、選択肢に which, where などがあれば関係詞の範囲と推測し、節中の構造に注目しよう。また、どの分野なのか判断しづらい問題もあるため、そういう場合は選択肢の違いに注目してみると解きやすい。

他の選択肢がなぜ不正解なのかを確認するために消去法を行うこと。

◇ 問題サンプル ◇

4 次の英文の空所に入る最も適切なものを選択肢から選び、その記号をマークせよ。

1. I think we still have room to discuss things () the matter.

- A. to regard B. regarding C. regarded D. regard

2. It's essential to () try to build good relationships in this team.

- A. act B. action C. active D. actively

3. Tom is claiming () a translation device last summer.

- A. develop B. developing C. to develop D. to have developed

4. I was () to hear you've been promoted.

- A. pleasant B. pleased C. pleasing D. pleasure

5. The students differ () their preferences for study methods.

- A. at B. by C. from D. in

6. The closer we () to our trip to Tokyo, the more excited the students become.

- A. are B. go C. have D. move

1 次の英文を読んでそれぞれ問いの答えとして最も適切なものを(A)～(D)より一つ選び、その記号をマークせよ。(800words 程度の例、2はこれの半分ほどの文章)

① “Optimism” means having a strong expectation that, in general, things will turn out all right, despite *setbacks and disappointments. Optimism is an attitude that protects people against falling into apathy — the feeling of not caring about life, or of hopelessness, or depression in the face of difficulty. And optimism pays in life.

② Martin Seligman, a psychologist at the University of Pennsylvania, defines optimism in terms of how people explain themselves their successes and failures. People who are optimistic see a failure as due to something that can be changed so that they can succeed next time around, while *pessimists take the blame for failure, believing it to be the result of some ①lasting characteristic that they are unable to change. These differing explanations have strong and serious implications for how people

respond to life. For example, in reaction to a disappointment such as being refused a job, optimists tend to respond actively and hopefully, by developing a plan of action, or seeking out help and advice; they see the setback as something that can be coped with, and a chance to improve themselves. Pessimists, by contrast, react to such setbacks by assuming there is nothing they can do to make things go better the next time, and so do nothing about the problem; they see the setback as due to some personal weakness that will always plague them.

③ Degree of optimism predicts academic success. In a study of five hundred members of the incoming freshman class of 1984 at the University of Pennsylvania, the students' scores in a test for optimism were a better predictor of their actual grades in freshman year than were their *SAT scores or their high-school grades. Seligman, who studied these students, said, "College entrance exams measure talent, while the optimism test tells you who gives up. What leads to success is a combination of ②reasonable talent and the ability to keep going in the face of defeat. What's missing from tests of ability is the measurement of motivation. What you need to know about someone is whether they will keep going when things get disappointing. For a given level of intelligence, your actual achievement depends not just on talent, but also on the capacity to bear defeat."

④ One of the most telling demonstrations of the power of optimism to motivate people is a study Seligman did of insurance salesmen with the MetLife company. Being able to take rejection with ③grace is essential in sales of all kinds, especially with a product like insurance, where the ratio of "no"s to "yes"s can be so discouragingly high. For this reason, about three quarters of insurance salesmen quit within their first three years. Seligman found that new salesmen who were by nature optimistic sold 37 percent more insurance in their first two years on the job than did pessimists. And during the first year the pessimists quit at twice the rate of the optimists.

⑤ What's more, Seligman persuaded MetLife to ④hire a special group of applicants that had scored high on a test for optimism but failed the normal job interview. This special group sold 21 percent more than the pessimists in the first year, and 57 percent more in the second.

⑥ Optimism is an emotionally intelligent attitude, which, in this case, leads to practical results. Each "no" that a salesperson gets is a small defeat. The emotional reaction to that defeat is essential to the ability to ⑤summon up enough motivation to continue. As the "no"s mount up, positive feelings can decline, making it harder and harder to pick up the phone to make the next call. Such rejection is especially hard to take for a pessimist, who will interpret it as meaning, "I'm a failure at this; I'll never make a sale" — an interpretation that is sure to lead to apathy and defeatism, and even depression. Optimists, on the other hand, tell themselves, "I must be using the wrong approach," or "That last person was just in a bad mood." By seeing not themselves but something in the situation

as the reason for their failure, they can change their approach in the next call. While the pessimist's mental set leads to despair, the optimist's gives life to hope.

⑦ We may well be born with a positive or a negative outlook; people by nature tend one way or the other. But outlook can be altered by experience. Optimism and hope can be learned. Underlying both is an outlook psychologists call *self-efficacy*, the belief that one has mastery over the events of one's life and can meet challenges as they come up. Developing a capability of any kind strengthens the sense of self-efficacy, making a person more willing to take risks, and to seek out more demanding challenges.

⑧ A Stanford psychologist who has done much of the research on self-efficacy sums it up well: "People's beliefs about their abilities have a deep effect on those abilities. People who have a sense of self-efficacy recover from failures; they approach things in terms of how to handle them rather than worrying about what can go wrong."

(注) setback : something that delays or prevents progress

pessimist : someone who always expects bad things will happen

SAT : an examination that American high school students take before they go to college

1. Degree of optimism から始まるパラグラフの内容と一致するものを選び、その記号をマークせよ。

- (A) How well one can do at college will be determined mostly by one's intelligence level alone.
- (B) How well one can do at college can hardly be predicted by whether one is optimistic or not.
- (C) How well one can do at college is decided by both one's level of ability and one's degree of optimism.
- (D) How well one can do at college is dependent on how long students devote to studying.

2. One of the most から始まるパラグラフの内容と一致するものを選び、その記号をマークせよ。

- (A) The examples explain how difficult it is to sell insurance policies.
- (B) The examples describe how optimists perform better than pessimists.
- (C) The examples illustrate the importance of selecting employees for selling insurance.
- (D) The examples express the reason why salesmen quit their jobs.

3. Optimism is an emotionally intelligent attitude から始まるパラグラフの内容と一致するものを選び、その記号をマークせよ。

- (A) Optimists continue their efforts to achieve goals, while thinking about the reasons for their failure.
- (B) Optimists assume that they have failed because of some personal weakness that cannot be changed.
- (C) Optimists use a variety of strategies to deal with difficulties, not blaming others for having failed.
- (D) Optimists have much the same mindset as pessimists when their positive feelings decline.

4. We may well be born から始まるパラグラフの内容と一致するものを選び、その記号をマークせよ。

- (A) People's attitude to handling failure does not change.
- (B) There is little point in trying to acquire different ways of viewing things.
- (C) Developing any kind of capability derives from having *self-efficacy*.
- (D) People can change in terms of how optimistic they are.

5. A Stanford psychologist から始まるパラグラフの内容と一致するものを選び、その記号をマークせよ。

- (A) What you are able to do profoundly affects what you believe you can do.
- (B) How you recover from failures affects how much you worry about things.
- (C) How much you believe in your capabilities influences your actual capabilities.
- (D) How things go is unrelated to what you are able to do in the future.

6. 下線部それぞれの意味に最も適切なものを選択肢から選び、その記号をマークせよ。

(1) lasting

- (A) final (B) continuous (C) interesting (D) meaningful

(2) reasonable

- (A) inexpensive (B) creative (C) average (D) gifted

(3) grace

- (A) anger (B) politeness (C) sadness (D) satisfaction

(4) hire

- (A) employ (B) use (C) dissolve (D) represent

(5) summon up

- (A) lack (B) awake (C) need (D) give

[解説]

1. (C)

段落の主張を捉える or 該当箇所を探す問題。段落指定がなく、設問も主張を捉える問題なのか、該当箇所を特定する問題なのか、初めの段階では不明である。あらかじめ設問を確認している際に、how well one can do at college を見ておけば根拠を探すヒントとなっただろう。今回は、第 3 パラグラフの 5～6 行目 What leads to success is a combination of reasonable talent and the ability to keep going in the face of defeat. が解答の根拠となっており、解答は、(C) is decided by both one's level of ability and one's degree of optimism. が正解となる。

2. (B)

段落の主張を捉える問題。設問が具体例の意図を問う問題となっており、段落を読み終えた上で主張を考えてからでも解答できるし、それまでの段落で述べていることをこの段落で例証している可能性も十分に高い。今回は段落を読み切ると、段落全体の主張が、楽観主義思考のセールスマンの方が営業成績が良いことだと分かるため、解答は(B) describe how optimists perform better than pessimists. が正解となる。

3. (A)

該当箇所を探す問題。At a time of failure or defeat, optimists を見ておけば根拠を探すヒントとなっただろう。第 6 パラグラフ 7 行目あたりから、楽観主義者が失敗したときにどう感じるかが具体化されており、8～9 行目に By seeing not themselves but something in the situation as the reason for their failure, they can change their approach in the next call. とあることから、「失敗しながらも行動すること」がポイントだとわかる。よって解答は(A) continue their efforts to achieve goals, while thinking about the reasons for their failure. が正解となる。

4. (D)

段落の主張を捉える or 該当箇所を探す問題。段落指定がなく、設問も主張を捉える問題なのか、該当箇所を特定する問題なのか、初めの段階では不明である。読み進めていくと、第 7 パラグラフの 2 行目、But outlook can be altered by experience. Optimism and hope can be learned. に根拠を発見でき、解答は(D) people can change in terms of how optimistic they are. が正解となる。

5. (C)

段落の主張を捉える問題。第 8 パラグラフ 2 行目 People's beliefs about their abilities have a deep effect on those abilities. より、「自分の能力を信じれば、その能力に影響を与える」と格言じみた根拠により、解答は(C) How much you believe in your capabilities influences your actual capabilities. が正解となる。

6.

(1) (B) lasting

lasting は「永続的な」の意味の形容詞。一番近い意味の(B) continuous 「継続的な」が正解。文脈的には直後の関係代名詞中に「変えることのできない」という内容があることもヒントとなるだろう。(A) final は「最終的な」、(B) interesting は「興味深い」、(D) meaningful は「意味のある」である。

(2) (C) average

reasonable は「分別のある、筋の通った、かなり良い」などの意味。単語の意味を見ただけでは(C) average 「平均的な、一般的な」に絞りにくい、一文の意味で考えれば「成功へとつながるのは、それなりの才能と、挫折しても進み続ける能力との組み合わせである」と、訳が合う。その他にもこの段落の主旨が楽観主義の重要性を伝える段落なので、才能はそこそこだが、成功には気持ちが重要だという内容が合う。(A) inexpensive 「安価な」、(B) creative 「独創的な」、(D) gifted 「才能ある」ではその主旨に沿わないため×となる。

(3) (B) politeness

grace は「優美、礼儀正しさ」などの意味があるが、一番近い意味の単語は(B) politeness 「丁寧」である。(A) anger 「怒り」、(C) sadness 「悲しさ」、(D) satisfaction 「満足」は単語の意味に合わない。文脈で考えてみても、「拒絶されても潔く受け入れる能力はあらゆる種類のセールスマンに不可欠である」となり(B)が最適である。

(4) (A) employ

hire は「採用する」の意味で最も近い(A) employ 「雇う」が正解。(B) use 「使う」、(C) dissolve 「溶かす、解散する」、(D) represent 「表す、代表する」は目的語の group の文脈に合いそうな気はするが、ここは単語の意味だけで解答したいところ。

(5) (B) awake

summon up は「～を呼び起こす」意味の熟語。表現が少し難しいので文脈から考えると「その敗北に対する感情面での反応こそが、継続への十分な動機を.....する能力に欠かせないものなのである」なので、訳に当てはまるのは(B) awake 「～を起こす、呼び覚ます」である。(A) lack 「～に欠ける」、(C) need 「～を必要とする」、(D) give 「～を与える」では文の意味に合わないため×。

